

## 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

### 人文・社会科学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

#### 議事要旨

日時	平成28年5月13日（金）14:00～15:40
会場	日本学術会議 2階大会議室
出席者	大塚委員、岡田委員、梶委員、河田委員、川本委員、久保委員、小松委員、小森田委員、杉田委員、恒吉委員、町村委員、松本委員、宮崎委員、山川委員
陪席	日本学術会議事務局（石井参事官、松宮参事官補佐、大橋参事官付、大庭参事官付）

#### 配布資料

資料1	学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて
資料2	評価小分科会における審議事項等
資料3	第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方
資料4	今後のスケジュール
資料5	人文・社会科学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】
参考1	小分科会委員名簿
参考2	第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
参考3	公募要領
参考4	学術研究領域コード表

#### 議 題

##### 1) 役員の選任について

互選により、委員長として小森田委員が選出された。次いで、委員長から副委員長として杉田委員が、幹事として恒吉委員および小松委員がそれぞれ指名され、承認された。

##### 2) 評価小分科会における審議事項等

学術の大型研究計画検討分科会委員でもある宮崎委員より、資料について

説明があった。

3) 利益相反についての考え方の確認

学術の大型研究計画検討分科会委員でもある宮崎委員より、資料3などを用いて審査における利益相反についての考え方の説明があった。

4) 評価の方法の確認

評価の方法について資料1および5に基づいた説明と質疑応答が行われた後、評価方法の確認がなされた。なお、区分Ⅰのうちの2件については、(副)に指定された評価小分科会に評価を依頼することになった。

5) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の集計結果にもとづいて行う、各委員の評価が利益相反の点から問題がないことの確認、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけ及び応募提案（区分Ⅱ）のコメント案のとりまとめの審議の方法について、評価小分科会の会議を開催する必要があるかどうかについての判断を委員長に委ね、開催の必要はないと判断した場合は上記の点についての決定を委員長に一任し、開催に必要があると判断した場合は、6月10日(金)13～15時に第2回の会議を開催することとした。また、小分科会の会議を開催しない場合、第1回会議の議事要旨の確認は、事前に委員にメールで案を提示した上で、委員長に一任することとした。なお、委員長は、これらの判断・決定を行うにあたり、副委員長および両幹事とあらかじめ協議することを確認した。

6) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。